

# 決算説明資料

2012年3月期通期



2012年5月  
株式会社アテクト

# 目次

第1部 2012年3月期通期決算概要

P3

第2部 2013年3月期経営方針

P10

# 第1部

## 2012年3月期 通期決算概要

# 2012年3月期 業績の要約

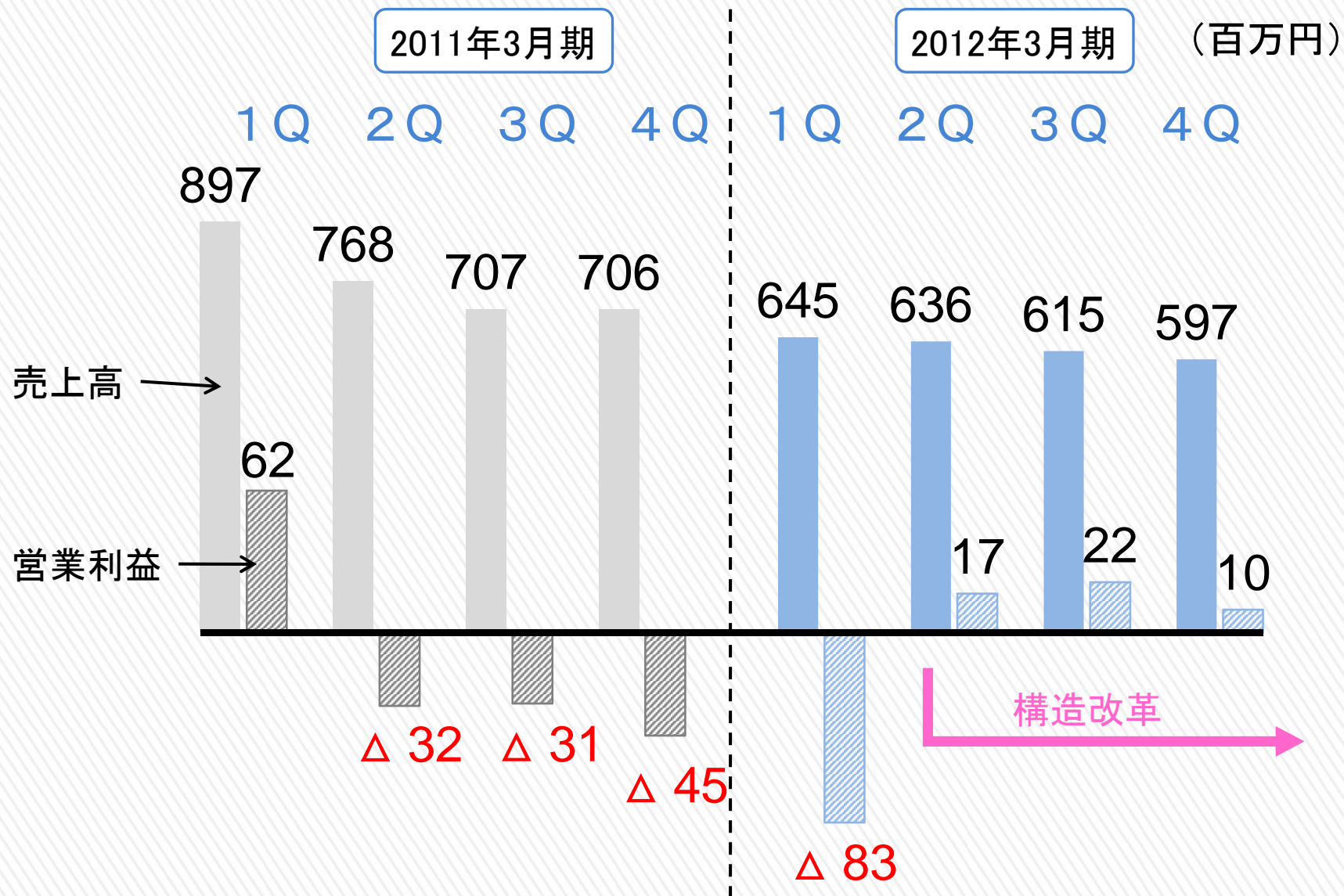
(百万円)

	2011年3月期 (連結)	2012年3月期 (連結)	前期比(%) (連結)
売上高	3,080	2,495	81.0%
売上総利益	1,065	944	88.6%
(粗利益率)	34.6%	37.9%	—
(販管費比率)	35.8%	39.2%	—
営業利益	△38	△34	
(営業利益率)	△1.3%	△1.4%	
経常利益	△123	△143	
(経常利益率)	△4.0%	△5.7%	
純損益	△155	△587	

## 特別損失

- ・事業構造改善費用 417百万円
- ・子会社整理損 81百万円
- ・減損損失 57百万円
- ・固定資産除却損 9百万円
- ・貸倒引当金繰入 130百万円

# 2012年3月期 売上高・営業利益の推移



# 「構造改革」の概要

## 『衛生検査器材』『半導体資材』の

### 2大基本事業に立ち戻る

#### 選択と集中

- 日本の生産拠点を閉鎖
- 台湾子会社(安泰科科技股份有限公司)設立。アテクト・ 코리아 と合わせ、生産拠点を海外2拠点体制・・・顧客との密接な連携
- 成長可能性を重視して事業を選択、培ったノウハウ・技術を集中

#### 機構改革

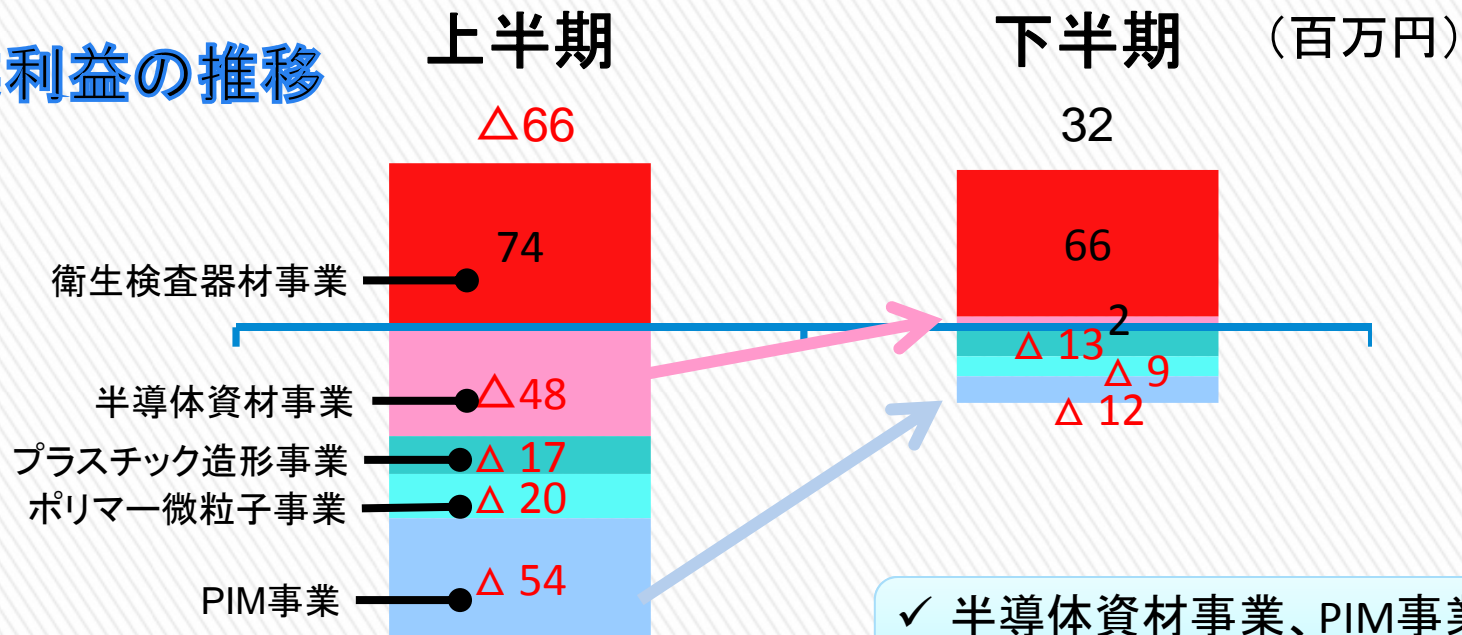
3本部制によるビジネススピードの向上  
売上責任(営業本部)  
原価責任(製造本部)  
財務責任(管理本部)

# セグメント別業績の状況

(百万円)

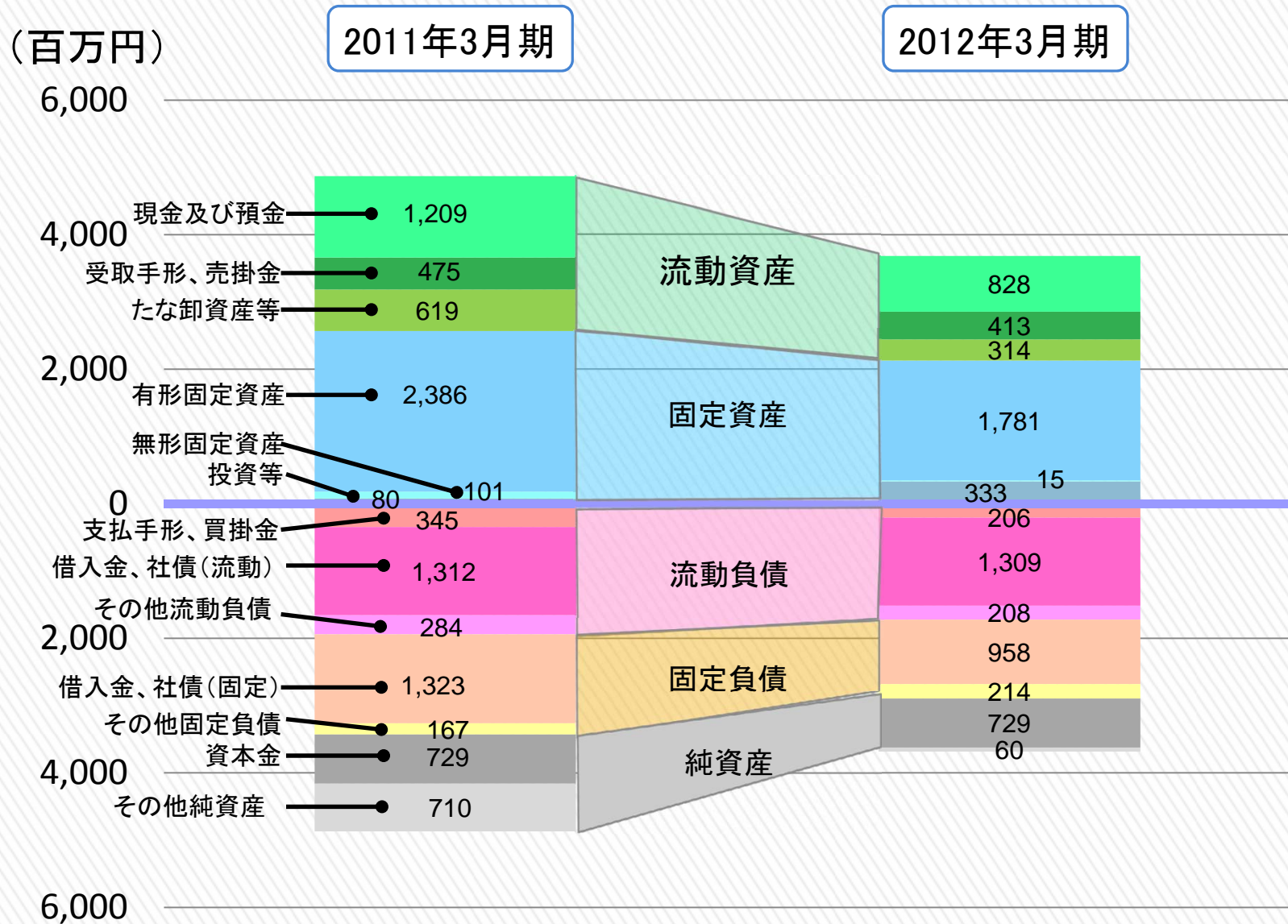
		衛生検査 器材事業	半導体 資材事業	PIM事業	プラスチック 造形事業	ポリマー 微粒子事業
売上高	上半期	704	447	5	112	18
	下半期	700	345	18	134	19
営業利益	上半期	74	△48	△54	△17	△20
	下半期	66	2	△12	△13	△9

## 営業利益の推移



✓ 半導体資材事業、PIM事業  
採算性大幅向上

# BS



↑ 資産の部  
↓ 負債の部  
 資本の部



# 要約キャッシュ・フロー

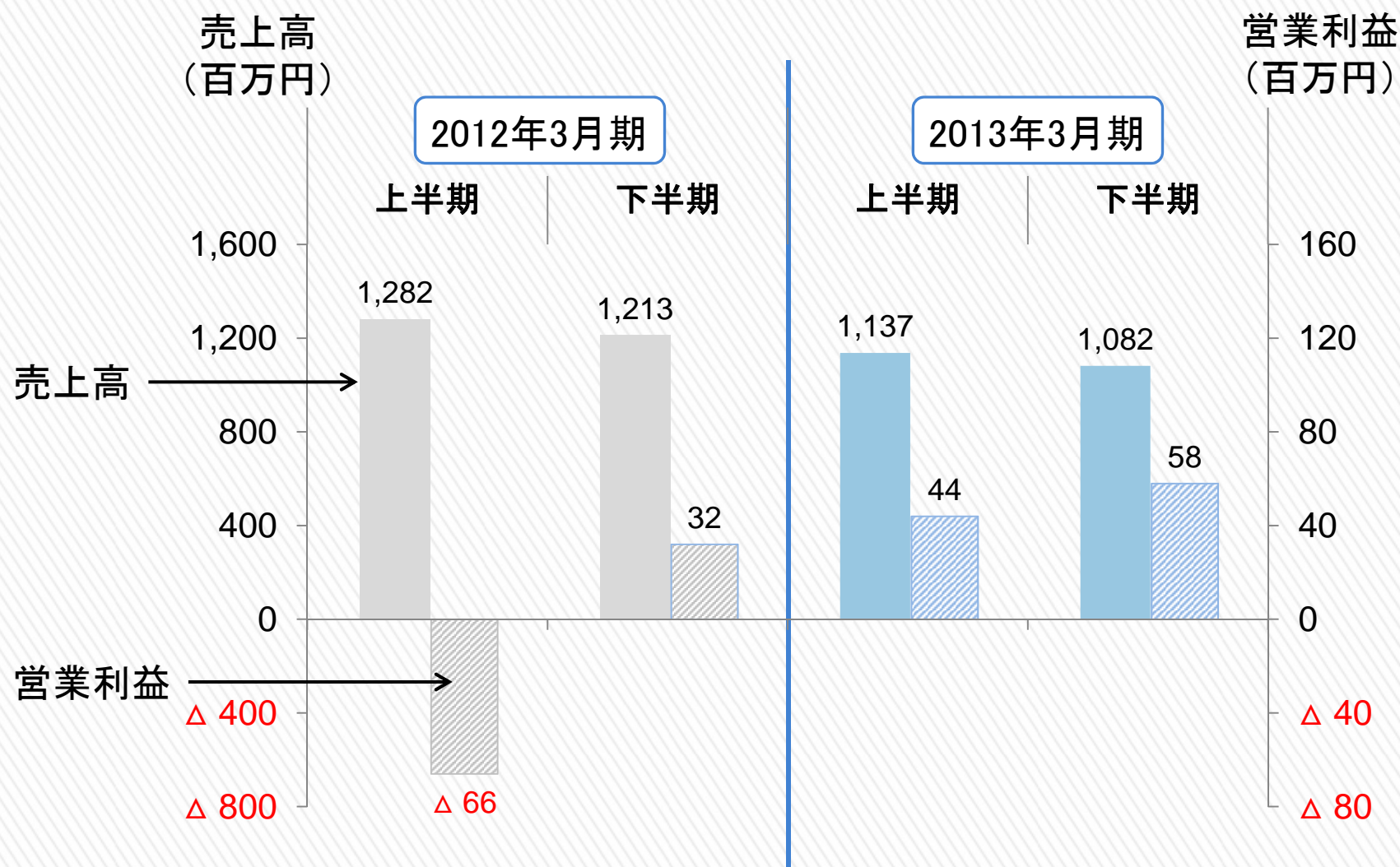
(百万円)

	2011年3月期 (連結)	2012年3月期 (連結)
営業活動によるCF	91	262
投資活動によるCF	△ 482	△ 129
財務活動によるCF	695	△ 478
期末残高	1,072	732
期末残高増減	313	△ 340

## 第2部

# 2013年3月期 経営方針

# 2013年3月期売上/利益計画

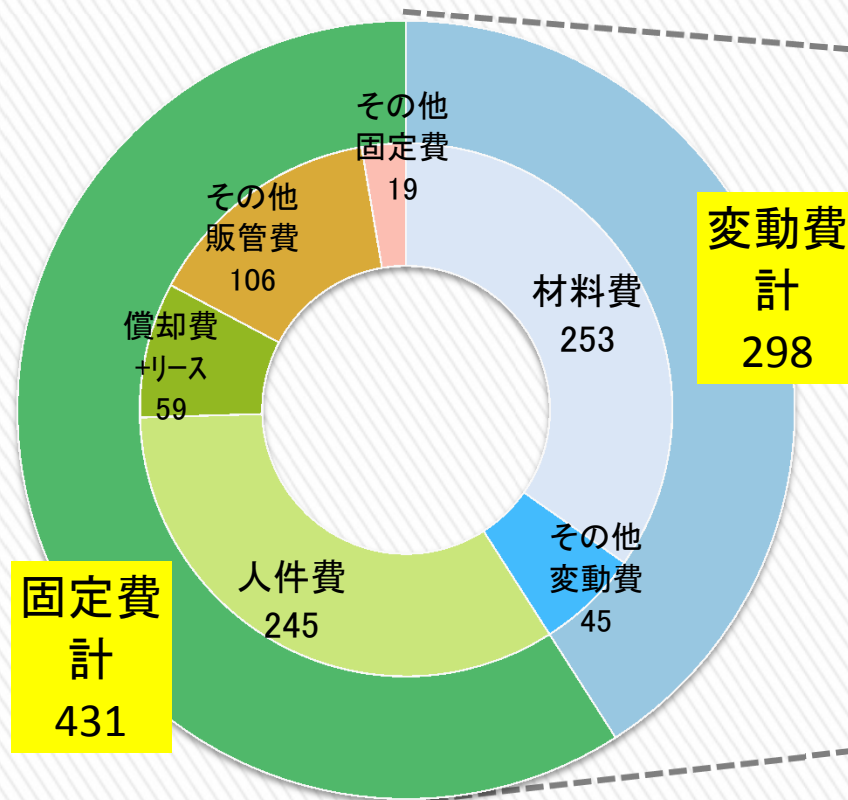


まず、既存2大事業で安定収益を確保し、新たな成長路線を歩む

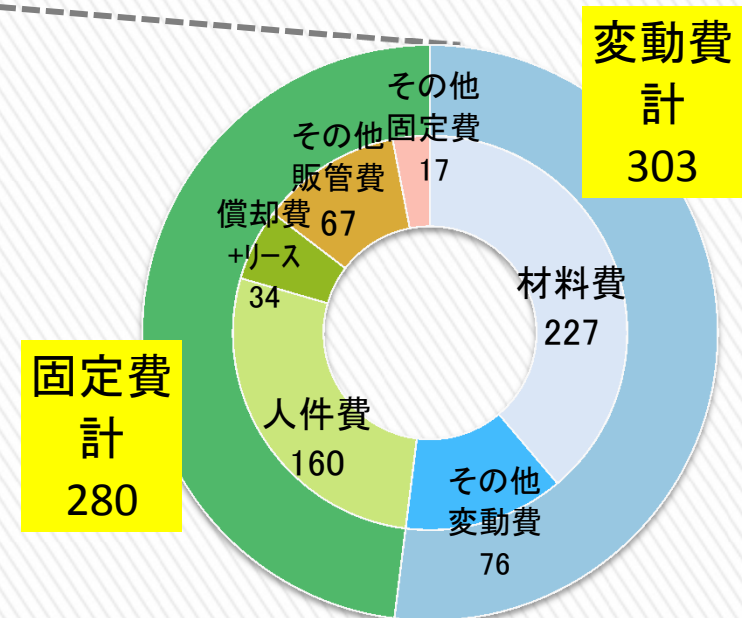
# 総費用比較

2012年3月期第1Q(2011年4月～6月)実績

2013年3月期第1Q(2012年4月～6月)計画



費用計: 729百万円



費用計: 584百万円

# セグメント別の事業展開と計画(衛生検査器材)

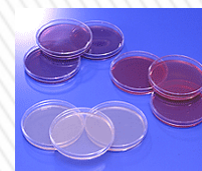
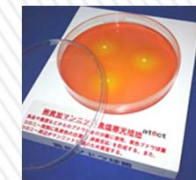
## 衛生検査サービス

- ハードからソフトへ-事業構造の質的転換  
物販中心から顧客サービス事業へ  
絶対的な競争優位を確立
  - 受託検査サービス
  - 衛生管理・検査指導

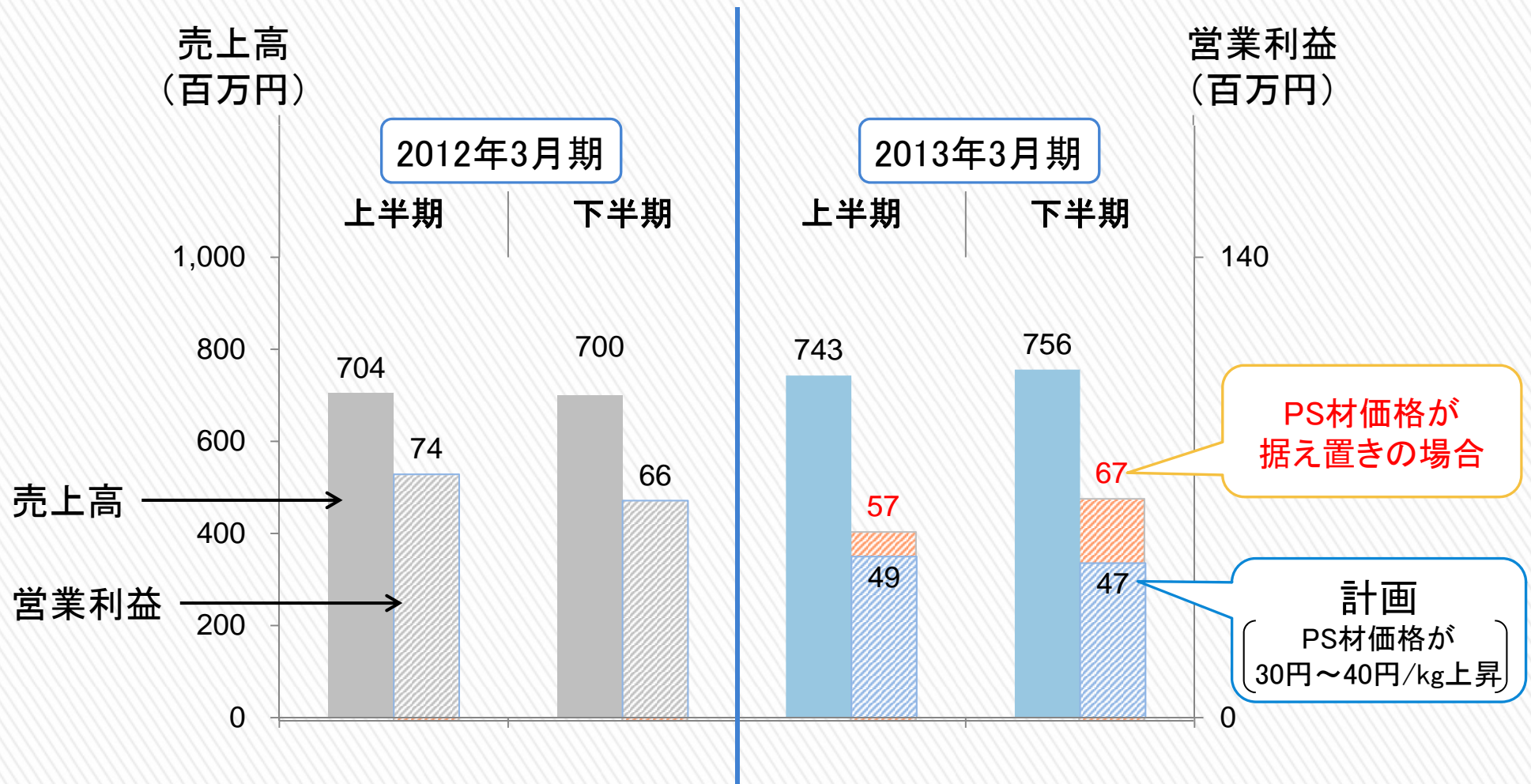


## 衛生検査商品(試薬・培地分注品・デスポ製品)

- 新商品の継続投入  
顧客の声に基づいた製品開発の促進(5アイテム)
- テレマーケティングの拡充  
新規開拓+既存顧客の需要掘り起しで  
実質顧客数1,000社増
- 高収益商品への集中  
生培地などの付加価値の高い製品を増産  
コスト競争力を大幅に増強
  - 液体培地
  - 試薬用サプリメント
  - 生培地



# セグメント別の事業展開と計画(衛生検査器材)



# セグメント別の事業展開と計画(半導体資材)



台湾  
安泰科科技股份有限公司



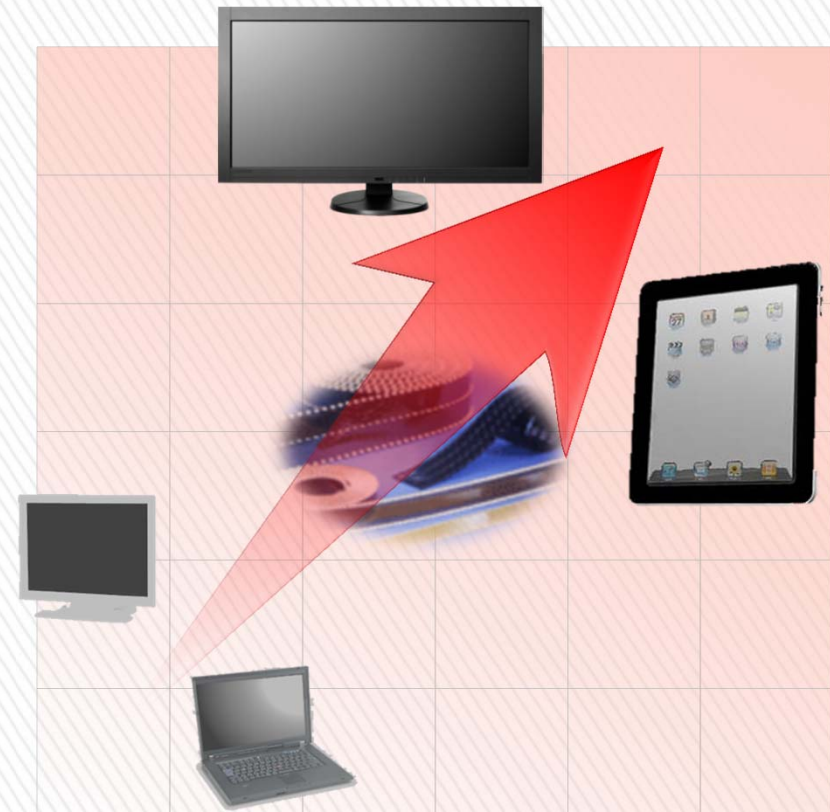
韓国  
アテクト코리아

- 世界の主要FPD生産拠点に生産拠点立地、安定的に収益を上げる体制の確立

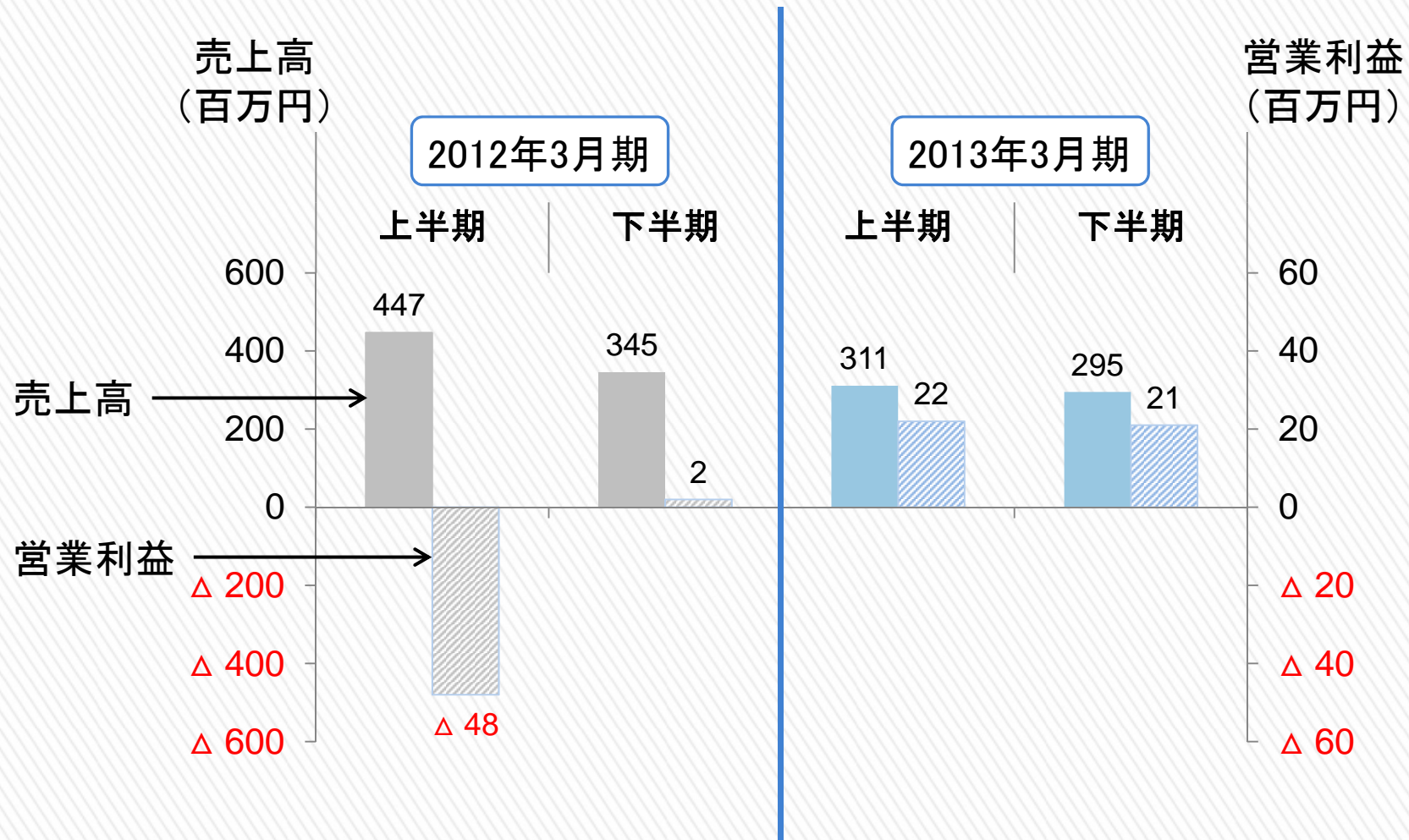
## ⇒利益重視の現地運営

- 4K2Kディスプレイの普及
- タブレット型端末製造工程での使用可能性

## ⇒技術革新による需要の開拓



# セグメント別の事業展開と計画(半導体資材)





# セグメント別の事業展開と計画(PIM)

## PIM(Powder Injection Moulding粉末射出成形)

金属やセラミックスなどの微粉末とバインダーの混合物を金型で射出成形する製法  
バインダーを自社開発できる強みを活かし、従前では実現することができなかった寸法精度で、  
超耐熱性や超高硬度などの特性を有する機械・電子部品等を開発・製造

事業展開分野	バインダー※1 フィードストック※2	製品
MIM 金属 射出成形	・スマートフォンパーツ用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HDD用パーツ</li> <li>・センサー用電磁部品</li> <li>・超光沢製品</li> </ul>
CIM セラミックス 射出成形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・装飾品のパーツ用 (例:時計、アクセサリ)</li> <li>・スマートフォンパーツ用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放熱用セラミックス製ヒートシンク 〔金属と同等の熱伝導率 10倍の熱放射率〕</li> <li>・機械摺動部〔高強度・耐熱性〕</li> <li>・超光沢製品</li> </ul>

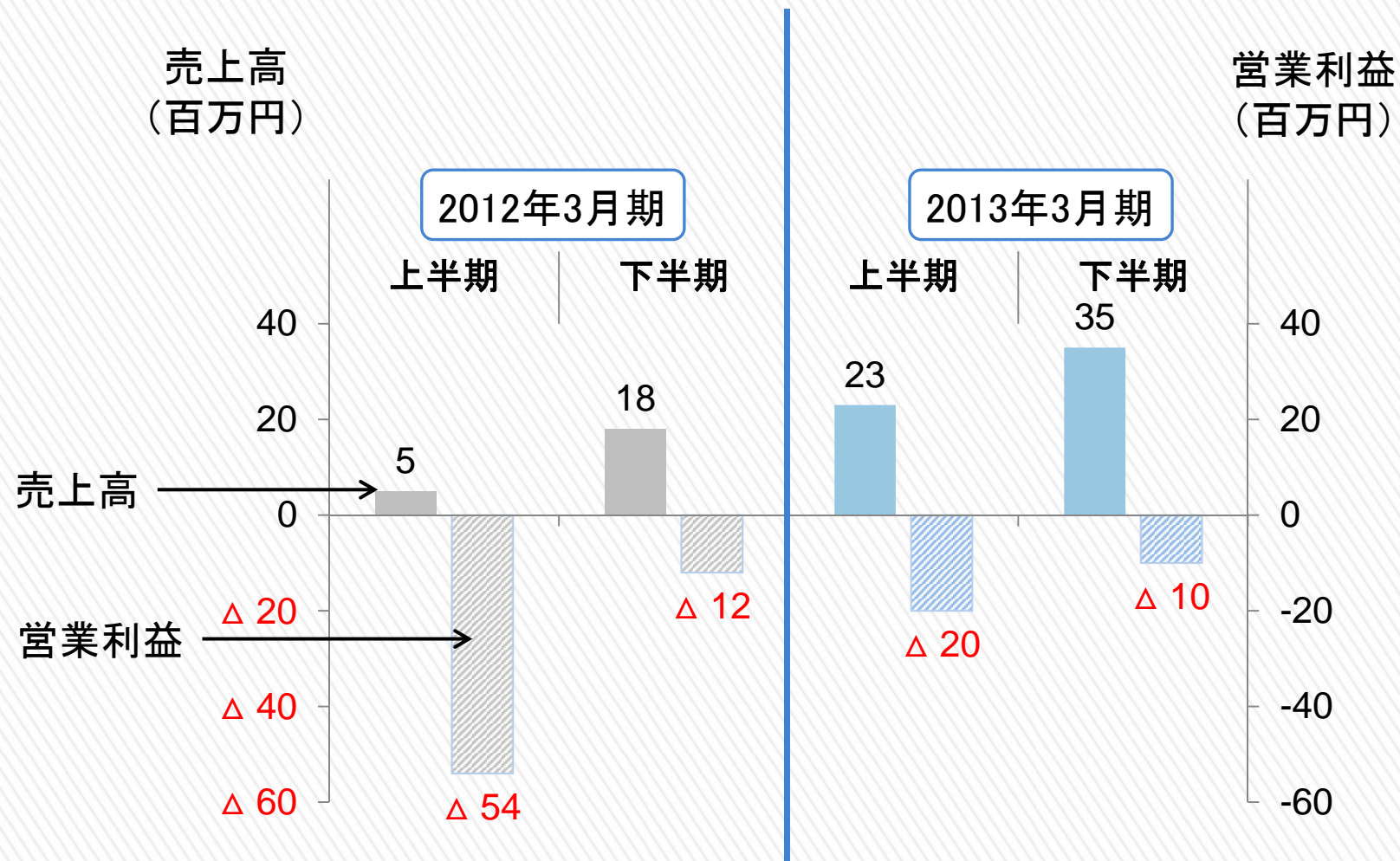


※1 バインダー  
金属やセラミックスの粉末を射出成形する際に  
流動性を付与するために不可欠な成形助剤



※2 フィードストック  
金属やセラミックスの粉末とバインダーを混練した後、  
射出成形機に投入する為にペレット化したもの

# セグメント別の事業展開と計画(PIM)



当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

### 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理本部 IR担当

TEL:072-967-7000

E-mail:ir@atect.co.jp